



ひらかわ

市議会だより

令和7年(2025年)12月15日発行

令和7年9月定例会

2025.12

NO.80



Contents

主な内容

- 令和6年度決算審査 2
- 一般質問 6
- 行政視察報告 10
- 議決結果 11
- 議会あれこれ 12



決算特別委員会の録画映像は、YouTubeにてご覧いただけます。

平川市議会YouTubeチャンネルはこちら



水木悟志 副委員長

令和6年度の歳入・歳出が適正であったかどうか、全議員で慎重に審査・討論しました。



桑田公憲 委員長

令和6年度

決算審査



教 育

遊具点検委託料

山谷洋朗 議員

①内容は。

工藤秀一 議員

②点検の結果は。

答 弁

①市内各小学校グラウンドの鉄棒、ブランコなどの遊具について、年1回の定期点検を行いました。

点検では、遊具本体の塗装の劣化状況、腐食やゆがみ、破損の有無のほか、遊具周辺の安全確保の状況なども考慮した総合的な判断を行っています。

②計43基ある遊具のうち使用不可と判定されたものが7基ありました。7基のうち3基は基礎部分が露出しており、盛土などの対応で改善可能であったため、既に対応しています。残りの4基は、腐食や亀裂が生じているもので、簡易な対応では改善できないため、現在は使用禁止としており、学校と協議して今後の対応を検討します。

子どもフェスティバルイベント委託料

齋藤律子 議員

①委託先と内容は。

②保護者や家族を含めた参加数は。

答 弁

①子どもフェスティバルは5月5日のこどもの日にちなみ、子どもの情操を豊かにすることを目的に、市教育委員会と平川市子ども会育成協議会の共催で文化センターにて、警察・消防車両の乗車体験、地域の子ども会による模擬店などを実施し、約400人の子どもたちが参加しました。委託料はスライムや、バルーンアート製作体験、ジャグリング・ショー実演体験、スラックライン実演体験に支出しています。

②概数で、大人が200人から250人、合計で600人から650人と推量しています。

学力検査委託料、知能検査委託料

佐藤 保 議員

内容は。

答 弁

学力検査委託料は小学校全児童、中学校1・2年生を対象に、児童生徒一人一人の学力を診断分析し、児童生徒個々の課題を共有し、その解決に向けての指導を行うとともに、教師の指導力改善に活用することを目的に実施しています。実施教科は小学校1～3年生は国語と算数、小学校4～6年生は国語、社会、算数、理科、中学校1・2年生は国語、社会、数学、理科、英語となっています。

知能検査委託料は児童生徒一人一人の知能を認知・記憶・拡散思考・集中思考・評価の能力面から総合的に分析し、得意とする勉強の仕方などを把握することで学習指導に活用するため実施しています。対象児童生徒は小学校2年生と5年生、中学校1年生と3年生になります。

スポーツ大会派遣補助金

小野 誠 議員

①支出額が当初予算400万円を大幅に上回った理由は

②東北大会や全国大会への派遣人数は。

③令和5年度と比較し増えた競技は。

答 弁

①令和6年度当初予算400万円は前年予算要求額と執行額から今後の総支出額を想定し計上しました。しかし、市内小・中学生の各競技のレベルが向上し、東北大会や全国大会に出場した選手が大幅に増えたことが上回った要因です。

②令和6年度の派遣した競技は軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、空手、サッカー、バドミントン、陸上、ボクシング、新体操、卓球の全10競技。小学生163名、中学生64名、監督等31名の計258名を派遣しています。

③派遣人数が増えた競技は、軟式野球、ソフトテニス、空手、バドミントンです。

私たちのお金はどう使われた？
令和6年度の収入・支出を一斉チェック！
令和6年度決算審査となる決算特別委員会は、9月12日・16日・17日の3日間開催しました。委員長には桑田公憲議員、副委員長に水木悟志議員が選任され、審査しました。



市の姿勢・まちづくり

職員手当等について

原田 淳 議員

- ①サービス残業はないか。
- ②代休によって対応しているのか。

答 弁

- ①時間外勤務は、各部署のそれぞれの課長等の命令・管理のもと実施し、適正に行われていると認識しています。
- ②休日勤務は代休、振替で対応しています。ただし、災害発生時やねぶたまつり等の従事は時間外勤務手当支給で対応しています。



除雪委託料

福士 稔 議員

- ①内訳と国からの補助額は。

葛西勇人 議員

- ②令和6年度の出動回数は。
- ③令和5年度との比較は。

答 弁

- ①除雪委託料5億9,178万9,625円の内訳は、道路などの除雪業務が3億5,245万5,221円、排雪業務が1億8,924万1,140円、その他雪置場管理業務などが5,009万3,264円となっています。国からの補助額については、記録的な豪雪であったことから、国からの社会資本整備総合交付金及び臨時道路事業費補助金合わせて1億5,052万7,000円が国庫補助として交付されています。
- ②昨年度平均の出動回数は、平賀地区26.4回、東部地区60.2回、尾上地区23.5回、碓ヶ関地区34.6回です。
- ③令和5年度は少雪で実働回数自体が少ない。令和3年度から令和5年度にかけて平均3か年の回数は、平賀地区19.1回、東部地区45.9回、尾上地区18.1回、碓ヶ関地区22.8回です。



現年課税分

葛西厚平 議員

- ①前年度比較での減額理由は。

中畑一二美 議員

- ②均等割世帯と非課税世帯の内訳は

答 弁

- ①対前年の個人市民税の減収の主な要因は、所得割は令和6年度に実施された定額減税により減少となっています。減税額1億769万6,000円です。また、均等割につきましては、令和6年度から森林環境税として年額1,000円課税され、市民税の均等割が引き下げられたことにより減少となりました。
- ②均等割のみの世帯は1,535世帯、住民税非課税世帯は3,940世帯です。



光熱水費

佐藤 保 議員

- ①内訳は。

齋藤律子 議員

- ②本庁舎分の前年度比較は。
- ③増減の要因は。

答 弁

- ①本庁舎の電気料が2,171万9,900円、上下水道料が96万1,196円。旧小国小中学校の電気料が53万8,415円、上下水道料が16万4,593円。旧生きがい拠点施設にある倉庫の電気料が3万1,570円、上下水道料が5万2,824円。駐車場等に設置してある街路灯の電気料が21万1,667円です。
- ②本庁舎の年間電気料は、令和5年度は2,231万6,551円。令和6年度は2,171万9,900円であり、令和5年度と比べ59万6,651円の減、2.7%の減です。年間の上下水道料は令和5年度84万3,889円、令和6年度は96万1,196円です。令和5年度と比較し11万7,307円の増となっています。
- ③電気料は令和5年度に比べ使用量も年間で約2万1,000kWh減少していることから、エアコンなどの節電効果によるものであると考えています。上下水道料は令和5年度に比べ、使用料が236㎡増加しているため、使用頻度が増加したことが要因と考えています。



印刷製本費

中畑一二美 議員

- 前年度からの増額理由と内訳は。

答 弁

昨年12月1日から運行開始している平川市デマンド交通「のらっさ」に関連し、その乗り方ガイドや乗降ポイントマップの印刷ほか、停留所の表示ステッカーの製作などを行い、昨年度より増となりました。

内訳は、「のらっさ」関連が92万3,758円。そのほか免許自主返納者へ公共交通チケットを配布しており、その印刷費は3万2,978円です。



デザイン制作委託料

葛西勇人 議員

- ①内容は。
- ②委託先の決定方法は。

答 弁

- ①昨年12月1日から運行開始している平川市デマンド交通「のらっさ」の認知度向上や利用者増を目的とするロゴを車両や乗降ポイントや乗り方ガイドを活用するため制作を委託するものです。
- ②委託料9万9,000円で、見積り額が10万円以下ということから、10万円未満であれば随意契約ができるため、一者随意契約としています。





福祉・医療

脳ドック委託料

石田昭弘 議員

- ①令和5年度、令和6年度の受診者数は。
- ②脳疾患等の予防につながったという事例や成果はあるか。

答 弁

- ①令和5年度は48名が受診し、令和6年度は前年度に比べ15名減の33名の方が受診しました。
- ②脳ドック受診者33名のうち要治療者が2名おり、いずれも近隣の医療機関で治療開始を確認しています。次に、要精検者が5名のうち1名に所見が認められました。これらのことから、当該事業が高額な医療費となる脳血管疾患の早期発見及び予防の一助となり、市の医療費抑制につながっているものと考えています。



子育て応援金

中畑一二美 議員

前年度と比べ大幅に増加しているが、その内容は。

答 弁

国の事業である子育て応援金に、市単独事業のにこにこBaby応援金を上乗せして支給しています。国の事業である子育て応援金事業は、子どもを出産し、出産後の面談等を受けた養育者に対し、生まれた児童1人につき5万円を支給するものです。

市単独事業であるにこにこBaby応援金は、令和5年度まで実施していた出産祝金の制度を見直し、生まれた児童1人につき第1子から10万円を支給するものです。出産祝金の制度見直しの経過措置として、令和6年度に限り、同制度の支給要件を満たしている場合は30万円を支給しています。

内訳は、令和6年度の支出額のうち、子育て応援金については、出生した児童159人に対し5万円を支給し、795万円となっています。令和5年度の149人と比較して10人増加となったことから、支給額として50万円の増額となっています。

続いて、にこにこBaby応援金については、令和6年4月以降に出生した児童121人に対し10万円を支給し1,210万円、出産祝金の経過措置分として、24人に対し30万円を支給し720万円、合計で1,930万円となっています。

令和5年度と比較し、子育て応援金分として50万円、新規事業であるにこにこBaby応援金分として1,930万円、合わせて1,980万円の増額となったものです。



母子家庭等高等職業訓練促進費

葛西厚平 議員

本事業の目的、訓練する職種、令和6年度の実績は。

答 弁

ひとり親の方が看護師や介護福祉士等の資格取得のため、1年以上養成機関で就業する場合に、就業期間中の生活の負担軽減のために給付するものです。課税世帯は月額7万500円、非課税世帯へは月額10万円が支給されます。また、就業の最終年度には月額4万円を加算し支給するほか、就業期間終了後に訓練修了支援給付金が、課税世帯へは2万5,000円、非課税世帯へは5万円が支給されます。

職業訓練の対象職種は、看護師、准看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、美容師、社会福祉士、製菓衛生師、調理師となっています。

令和6年度の支給対象者は、看護師の資格取得を目指す方が1名、准看護師の資格取得を目指す方が2名の計3名で、402万円を支給しています。



診療報酬

齋藤律子 議員

内容は。

答 弁

保険診療の医療費のうち、患者が加入する医療保険の保険者が負担するものです。平川診療所は前年度決算額より197万2,534円増の6,062万4,148円、患者数は延べ人数で1万2,187人、前年度比1,064人の増、月平均の患者数は1,016人です。増となった主な要因は、近隣の医療機関の閉院に伴う受診者の増が主な要因であると考えています。また、週1日実施しています整形外科ですが、延べ人数で年839人、前年度比191人の増、月平均患者数は約70人でした。

葛川診療所は、前年度決算額より31万3,833円減の254万1,684円。患者数は、延べ人数で576人、前年度比77人の減、月平均の患者数は48人です。減少要因は、人口の自然減を背景とした患者数の減少であると考えています。

碓ヶ関診療所は、前年度決算額より276万2,292円減の3,849万1,313円。患者数は、延べ人数で6,092人、前年度比299人の減、月平均の患者数は約508人です。減少要因は葛川地区同様、人口減を背景とした患者数の減少であると考えています。また、碓ヶ関診療所では令和7年2月から月2回、整形外科の診療が開始となりました。その整形外科の患者数ですが、2か月の延べ人数は114人、月平均で57人でした。



尿中アルブミン定量検査委託料

石田昭弘 議員

- ①尿中アルブミン定量検査とは何か。
- ②令和3年度から令和5年度と毎年度少ない状況から、この検査に該当する人は多くないのか。

答 弁

①尿中アルブミン定量検査は、尿の中のたんぱく質の一種であるアルブミン濃度を測定する検査で、糖尿病性腎症を早期に発見することを目的に行う検査です。

②尿中アルブミン定量検査に該当する方の人数は令和6



年度は8人が該当となり、1人は市からの紹介状を利用し検査を受け、5人の方は保険診療による検査対象になり、2人は未受診となっています。いずれの方たちにも市の保健師が保健指導として自宅を訪問し、必要な治療が開始されたか確認を行っています。さらに、未受診者の方には、治療を行わないことのリスクを説明し、医療機関で検査を受けてもらうよう継続して支援を行っています。令和3年度、令和4年度、令和5年度も同じような状況です。



産業・観光

ひらかわフェスタアトラクション等委託料

福士 稔 議員

内訳と内容は。

答 弁

委託料728万2,000円のうち、主なものとして、テント、テーブル、椅子などのレンタル料及び設営料で341万円、令和6年度のイベント、りんご娘やアンパンマンショーなどの出演料で148万5,000円、音響、照明、司会などのイベント運営経費で99万円、各種看板製作料や電気工事経費で77万円、ポスター、チラシ、ラジオCMなどの広告宣伝料で44万円、ごみ処理委託料など、その他諸経費で18万7,000円となっています。



平川ねぶたまつり実行委員会補助金

北山弘光 議員

内訳は。

答 弁

主にチラシやポスター、テレビCMなど広告宣伝に係る経費、音響設備や照明機器、仮設トイレ、三角コーンなど会場設営に係る経費、交通規制や迂回路等の予告看板の設置経費、警備業務委託料となっています。



消費者相談広域体制整備負担金

福士 稔 議員

- ①内容は。
- ②どういう相談が多いか。
- ③詐欺などもあるか。

答 弁

- ①当該負担金は、消費生活に関する苦情や相談等に対応する相談員に係る人件費や研修費、維持管理費など、相談窓口の運営に係る経費を協定に基づき負担しているものです。相談窓口については、当市も含めた弘前圏域において消費生活に関する相談を広域的に行い、住民サービスの向上を目指すことを目的に、弘前市のヒロロ3階、弘前市市民生活センターに窓口を集約することで、平成26年2月に協定を締結しています。現在は、相談員4人を配置して、消費生活に関する苦情、相談等に対応している状況です。
- ②通信販売に関わるもの、電話勧誘、架空請求などとなっています。
- ③架空請求の中に詐欺も含まれています。



園地づくり事業補助金について

工藤秀一 議員

- ①果樹経営支援対策事業のうち、高密植、わい化、丸葉、新植、改植について、りんごと桃それぞれの地域別の件数と面積は。
- ②かさ上げの金額は。

答 弁

- ①この改植、新植の樹形ごとの面積及び件数に関して、市で把握しているのはりんご樹になります。改植について、普通樹の件数と面積は、平賀地域が7件、1万1,281平米、尾上地域が2件、1,764平米。わい化は、平賀地域が14件、1万7,648平米、尾上地域が1件、640平米です。超高密植は、平賀地域が11件、1万6,273平米です。新植について、普通樹の件数と面積は、平賀地域が8件、1万8,831平米です。わい化は、平賀地域が3件、1万3,204平米、尾上地域が2件、6,930平米、碓ヶ関地域が1件、1,956平米です。超高密植は、平賀地域が5件、8,068平米です。メニュー別の件数と金額は、改植が32件で701万9,003円、新植が19件で459万1,735円、排水路整備が39件で661万1,075円、かん水施設整備が9件で95万円、土壌土層改良が10件で173万5,000円、園内道整備が21件で522万円、防風網設置が2件で180万6,249円、防霜ファン設置が1件で58万2,500円となっています。
- ②かさ上げの金額は2,851万5,562円です。



農業人材マッチング事業補助金について

葛西勇人 議員

- ①予算額に対して決算76万6,000円となっている理由は。
- ②昨年より半額にしたことが大きな原因か。

答 弁

- ①本補助金は、市内農業者の労働力不足の軽減を目的に、就労の動機づけとして、就労時間に応じて求職者に交付するものです。予算額に対して実績が147万4,000円の減となっていますが、交付単価を実質半額に見直したこと、また、交付は初年度限定で、次年度以降は対象外であること、市も使用推奨している民間企業が運営する農業マッチングアプリが普及し始めていることを要因として考えています。
- ②40時間1万円が80時間1万円と、実質半額になっており、対象となる求職者からみると、少し魅力が落ちたのではないかと考えています。



このような審査を経て、平川市議会は

令和6年度決算を認定しました。

平川市のいろいろな問題など、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。
議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋して記載しています。

農業の担い手確保

農地や農業機械設備
等の第三者承継を



か さいこうへい
葛西厚平 議員

議員 農業後継者と新規就農者の現状は。また、離農に関わる市への相談件数とそのうち継承された件数は。

答 令和5年度のアンケート調査によると、市内の農業者の約75%の方に後継者がいないのが現状です。また、令和6年度の相談件数は34件で、このうち耕作者に継承させることができた件数は12件です。

議員 市内では実際に農業を志して農業法人で働いている若者たちがいる。市の現状と将来を把握し、対策を取る必要があると思うが、市の考えは。

答 全国的に農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化している中、農業経営を次世代へ引き継ぐ事業承継は、当市において

も重要な課題であると認識しています。優良農地の継承が図られるよう、マッチングの仕組みづくりを検討していきます。

議員 ほとんどの農家が親族内継承をしてきたが限界もある。第三者承継も必要になり、農地や機械設備を継承できれば、行政も就農者も負担が少ない。総合戦略策定の折に考慮してほしい。



平川市議会会議録

一般質問の内容は会議録で読むことができます。

平川市の選挙について

平日選挙で
人件費の削減を



さいとう たけし
齋藤 剛 議員

議員 北海道の増毛町、東川町、山形県飯豊町などは平日選挙が行われており、法律では選挙を日曜日に限ると定めてはいない。平日選挙が行われている自治体の利点・欠点は。また、平川市長選挙と市議会議員選挙で平日選挙を行う考えはあるか。

答 選挙の投票日を平日に設定している自治体があることは承知しています。平日選挙のメリットは期日前に土日を挟むと候補者が有権者に声を届けやすいことや、ほぼ業務時間内での勤務のため選挙経費の節減となります。

一方でデメリットは、投票事務には多くの人員を要し、平日に投票を実施した場合は人員の確保が懸念されます。特に、事

務従事者につきましては、通常市職員が担っておりますが、市役所の開庁時間中に、職員のおよそ半数が各投票所において投票事務に従事することになり、市役所の業務に支障を来すおそれと考えられます。

選挙管理委員会としては、市長選挙及び市議会議員選挙を平日に実施することは、現時点では考えておりません。



議会miniコラム 田舎館村議会行政視察受入れ

令和7年11月6日、田舎館村議会のみなさまが「自治体DXの取組について、共助バス運行事業について、農作物の6次産業化推進について」を視察されました。



碓ヶ関総合支所の在り方

地域の衰退を防ぎ、住民の不安解消を



く どうひでいち
工藤秀一 議員

議員 本庁舎に業務が集約した

ことで、碓ヶ関総合支所での課題解決が難しく、市民から不満の声が増えている。地域が衰退しないよう、以前のように支所に建設担当部署を設置できないか。

答 合併以来、事務効率化、各部署のスリム化に努める中で、支所の建設産業係を廃止しております。しかし、支所と本庁が綿密に情報共有する体制を継続し、ウェブ会議ツールを活用して支所窓口でも本庁担当職員の顔が見える環境を整備するなど、住民の皆様に対するきめ細やかな行政サービスを目指します。

議員 高齢化率が52%と高い

碓ヶ関地域にも集落支援員※1を配置することで住民と行政と



碓ヶ関総合支所

の橋渡しとなり、住民の不安解消につながるのではないかと。令和6年3月～4月、碓ヶ関地域に対しアンケートを実施しており、年度内に人口の見通しや生活サービスの現状を整理し、地域での勉強会を計画しています。核となる地域人材の掘り起こしのため地域の方にご協力をお願いし、早期に設立したいと考えております。



議会中継はこちらから。

平川市議会YouTubeチャンネル

ファミリーレストラン誘致による地域活性化

中心市街地のにぎわい創出が重要です



か さいはや と
葛西勇人 議員

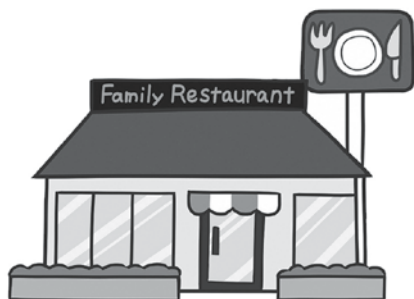
議員 ファミリーレストランの

市内誘致について検討状況を伺う。

答 ファミリーレストラン誘致の個別検討は行っておりませんが、飲食機能の充実が当市のにぎわいづくりにおいて重要と認識しています。今年度策定中の平賀駅周辺まちづくり基本構想を通じて、地域活性化の方向性を示し、その上でファミリーレストランを含む多様な事業者から、立地先として選ばれるまちを目指してまいります。

議員 ファミリーレストランの誘致も基本構想の中で検討していく趣旨だと理解した。私は以前の一般質問で、出店が進まない最大の要因は当市ににぎわいを感じられる中心市街地が整っ

ていないことであると述べたが、事業者にとって将来性を感じられるかどうかが出店判断の鍵である。基本構想策定については先進自治体を視察するなど参考にし、制度や用地整備にとどまらず、にぎわい創出のために当市には全力で取り組んでもらいたい。



※1 集落支援員とは

平成20年度から総務省が始めた制度で、地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウや知見を有した人材であり、地方自治体からの委嘱を受けて集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施する。

平川市のいろいろな問題など、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。
議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋して記載しています。

戦後80年とJアラート訓練

過去の教訓を
今に生かす教育を



さとう たもつ
佐藤 保 議員

議員 ウクライナとガザ地区でミサイルにより壊された建物が連日のように報道されている。今年は戦後80年という節目の年、7月10日に平川市のJアラート訓練が行われた。①市を挙げての訓練に至った経緯、②小・中学生の訓練実施について、③戦後80年、小・中学校の戦争の歴史教育について伺う。

答 当市のJアラート訓練は、令和4年10月に弾道ミサイルが青森県上空を通過したこと、不安定な世界情勢が報道されていることなどから実施に至りました。参加していた近隣住民や平賀東中学校の生徒は屋内へ避難し、同時刻には市内小・中学校でも同様の訓練を実施しました。戦争の歴史教育について、小学



Jアラート訓練

校では、人々の暮らしにどのような影響を与えたか、中学校では、戦争の背景にあった社会や政治の動き、当時の諸外国の立場、過去の教訓を現代に生かすことなど、歴史の流れや人々の生活の変化を多角的に捉え、未来に生かす視点を養うことを目的に行っています。



平川市議会会議録

一般質問の内容は会議録で読むことができます。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

物価高対策は
暮らしを守る要



なかはた ひふみ
中畑一二美 議員

議員 物価高騰対策として交付された重点支援地方交付金を活用してどのような事業を実施するのか。交付金以外で独自に物価高対策を行う考えは。

答 交付金を活用して共通指定ごみ袋配布事業を実施する予定です。大・中・小の各大きさのごみ袋をセットで全世帯へ送付するものです。これは、令和8年度から始まる津軽地域ごみ処理広域化によるごみの出し方の一部変更の周知も兼ねて実施するものです。市独自の事業について、物価高は国全体の問題であるため、引き続き国の動きを注視していきます。

議員 事業費についてなど、詳細は。

答 経費削減のためにいくつか

の方法を検討しましたが、町会を通じた配布方法では、町会未加入世帯に配布することができないこと、また、事務の効率化も勘案した結果、全世帯へプッシュ型で送付することになっています。

議員 他市では、商品券事業の郵送料を工夫することで市民への還元を増やした事例もある。職員で知恵を出し合って、事業を検討していただきたい。



共助バス※²の運行について

冬季の通学確保に向けた見直しを



さいとうりつこ
齋藤律子 議員

議員 蒲田、日沼、新山地区において共助バスの運転員の高齢化により運転員確保が難しいと聞くと現状は。また、下校時の安全確保のためスクールバス運行に切替えるべきではないか。

答 共助バスのアンケート調査では非常に満足しているとの意見が大半ですが、保護者からは運転員等としての協力は難しいという内容が多く、人材確保が難しい状況です。

教育委員会では、これまでスクールバス運行は学校の統廃合を契機に実施する方針ですが、共助バス運行の継続が難しい状況を踏まえ、スクールバスの運行が適切であると考えております。しかし、通学に関しては全小・中学校に関係するため、各

地区の通学状況を整理する必要があります。登下校を取り巻く環境の変化を考慮し、児童生徒の安全安心を最優先に適切に判断してまいります。

議員 登下校困難地域だということは市も認めている。地形上、尾上地域は東西に細長い。蒲田、日沼、新山地区のほか、金屋地区のように距離にしたら遠い地区があるのではないかと。今後考えていただきたい。



共助バスの様子



議会中継はこちらから。

平川市議会YouTubeチャンネル

猿賀公園エリア基盤整備

四季を感じる公園づくりを期待



いしだ あきひろ
石田昭弘 議員

議員 風致公園※³の特色を生かした植栽について、現在行われている植栽の内容はどのようなものか。

答 公園については、八重桜、ソメイヨシノなど約330本の桜のほか、モミジ、ドウダンツツジ、サツキなど植栽され、周辺の環境と調和した景観を形成しています。池側の植栽は植樹から50年ほど経過し、樹勢の衰えが一部見受けられることから、今年度池を囲む園路沿いに桜を15本植える予定です。

議員 誘客対策として、園路沿いにアジサイを植栽し、噴水広場には季節ごとの花を植えてはどうか。

答 平川市猿賀公園エリア観光誘客ビジョンにおいて、公園整

備については市民のニーズに基づき、利用促進に向けた検討を行うことにしています。提案も選択肢に入れ、猿賀公園の特性に合わせた植栽を行ってまいります。



猿賀公園噴水広場

※3 風致公園とは

自然の美しい風景や味わいを享受することを目的とした都市公園

※2 共助バスとは

スクールバスが運行されていない西地区（松崎小学校区6町会）と猿賀小学校・尾上中学校に通学する日沼・蒲田・新山地区の児童生徒の安全な通学確保のため、町会や地域運営組織が運行者となって児童生徒を送迎するもの。

行政視察報告

市議会では、まちづくりの参考、政策立案の実現に向け、先進地事例を学ぶため視察研修を行っています。市政の重要課題について分析や理解を深め、執行機関の監視機能の強化を図るため研修した内容を報告します。

行政視察報告書



詳細はこちら

●視 察 日／令和7年10月15日、16日

●参加議員／水木悟志・葛西厚平・小野 誠・北山弘光・葛西勇人・山谷洋朗
中畑一二美・石田昭弘・石田隆芳・工藤秀一・福士 稔・佐藤 保
桑田公憲・齋藤 剛・齋藤律子

岩手県釜石市

防災・危機管理について

釜石市では、震災復興の経験を生かした防災の取組事例を研修しました。

一般市民向けの防災出前講座は、令和6年度はおよそ3,000人が受講した実績があるなど、「自分の命は自分が守る」という意識の醸成を図っています。

7月30日のカムチャツカ地震では、釜石市の中学生在避難所を運営しており、防災教育の成果が見えたものであります。

また、研修中、釜石市の要支援者の避難計画の状況や防災無線の個別受信機の予算状況など、様々な質問がありました。



防災市民憲章碑にて



研修中の様子

岩手県北上市

北上市近未来政策研究所について

北上市の調査研究機関として立ち上げられた北上市近未来政策研究所は、既存組織の枠を越えた、「北上ならでは」の政策づくりを目標として取り組んでいる自治体シンクタンクとしての先進事例です。

職員の政策形成力の向上支援、大学との連携などを行っており、調査研究、政策立案支援、情報発信を推進しています。

似た部局として平川市では、みらい戦略室があります。政策アドバイザーによる助言の重要性や部局横断した政策形成力の向上支援など、参考とする点が数多くありました。



研修中の様子



令和7年9月定例会 審議議案とその結果（抜粋）

9月定例会

議 案 名	結 果
議員の派遣について（2件）	可決
人権擁護委員候補者の推薦について	同意
平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例案	可決
平川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案	可決
平川市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決
平川市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決
平川市簡易水道事業給水条例等の一部を改正する条例案	可決
平川市図書交流施設条例案	可決
黒石地区清掃施設組合の解散に伴う財産処分及び事務の承継について	可決
令和7年度平川市一般会計補正予算（第2号）案	可決
令和7年度平川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案	可決
令和7年度平川市介護保険特別会計補正予算（第1号）案	可決
令和7年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案	可決
令和7年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算（第1号）案	可決
令和7年度尾上地区住宅団地温泉事業特別会計補正予算（第1号）案	可決
令和7年度平川市水道事業会計補正予算（第1号）案	可決
令和7年度平川市下水道事業会計補正予算（第1号）案	可決
令和6年度平川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
令和6年度平川市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定
令和6年度平川市下水道事業会計決算認定について	認定
令和6年度各財産区一般会計歳入歳出決算認定（尾崎、新屋、町居、広船、小和森、石郷、岩館、大字大光寺、新館、沖館、葛川、吹上・高畑、原田、碓ヶ間）	認定
工事の請負契約の一部変更について	可決

賛 否 が 分 か れ た 議 案 等	水木	葛西	小野	北山	葛西	山谷	中畑	石田	石田	工藤	福士	佐藤	原田	桑田	齋藤	齋藤	結 果
	悟志	厚平	誠	弘光	勇人	洋朗	二美	昭弘	隆芳	秀一	稔	保	淳	公憲	剛	律子	
西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	可決
令和6年度平川市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	認定
令和6年度平川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	認定
令和6年度平川市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	認定

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 —：採決に加わらなかったもの 議長（石田隆芳）は採決に加わっていません

編集によせて

平川市議会は青の煌めきあおもり国スポ
平川市開催競技を応援しています。

青森県で昭和52年に開催された国民体育大会が、国民スポーツ大会に名称を変え、青森県では49年ぶりに開催となります。

表紙の写真は2026年の開催に向け、9月議会にて国スポP.Rポロシャツを着用し、機運醸成に取り組んだ様子です。

平川市では正式競技としてウエイトリフティング、公開競技としてグラウンド・ゴルフ、エアロビックス、デモンストレーションスポーツとして、インディアカが開催されます。大会が大いに盛り上がるよう、市議会全体で機運醸成に取り組めます。（委員一同）

傍聴して
みませんか

市本庁舎4階へお越しください

平川市議会広報特別委員会

委員長 石田 昭 弘
副委員長 北山 弘 光
委員 小野 誠
葛西 勇 人
山谷 洋 朗
工藤 秀 一

令和8年 第1回定例会は
3月3日からの予定

開会は10時です

傍聴席の定員は33名

請願・陳情は平日の
午後5時までにご提出願います。

お問合せは
議会事務局へ

提出方法はここから▶



☎0172-55-5792
(事務局直通)

議長が行く！

青森県知事へ要望！

11月18日、青森市で青森県市議会議長会の知事を囲む懇談会が開催され、石田隆芳議長が出席しました。10市の要望の中で、平川市からは県管理河川における浚渫及び雑木伐採の継続的な実施について要望しました。災害の一因となる河川の土砂排除や雑木伐採は、住民からの要望があることから、継続的な実施を要望しています。



知事を囲む懇談会

西十和田トンネル建設促進 市町村議長同盟会定期総会

令和7年8月29日、さるか荘で西十和田トンネル建設促進市町村議長同盟会定期総会が開催されました。当同盟会会長である石田隆芳議長が出席し、令和6年度の活動報告や予算、事業計画などの議事について協議されました。

青森県、秋田県の両知事に対し、西十和田トンネル（仮称）の早期建設についての要望活動を行うことが決定されています。



視察報告

市議会では、まちづくりの参考、政策立案の実現に向け、先進地事例を学ぶため視察研修を行っています。
市政の重要課題について分析や理解を深め、執行機関の監視機能の強化を図るため研修した内容を報告します。

平川市議会

尾上分庁舎改修工事の状況は？ (図書交流施設 よみまる)

9月19日、平川市議会は尾上分庁舎の改修工事の現場を確認し、進捗状況など、工事が適切に進められていることを確認しました。

議員からは、完成後の貸しオフィスの詳細や施設内に設置する器具の耐震性など、様々な質問がありました。また、改修後のパインフォーラムの屋根が自然な見た目であるなどの感想がありました。

現在、尾上分庁舎にはぎわいを生む施設となるよう事業を進めています。2階遊び場コーナーの家具の製作が始まり、完成後は「でんしゃ」や「おみせ」、「おうち」をテーマにした家具が小さな街のように並び、子どもたちが中で本を読んだり、遊んだりできる空間になります。



青森県市議会議長会

令和7年度 青森県市議会議員研修会

10月8日、青森県市議会議長会による研修会が、弘前市フォルトーナで行われました。当市議会議員を含む県内10市の市議会議員が集まり、(有)リンゴミュージック 代表取締役 樋川 新一氏を講師に、「『この街で夢をかなえる』～地方活性化アイドル達の挑戦～」をテーマとした講演が行われました。



研修の様子

